泰勝寺仰松軒
大正11年

千利休の茶の湯の作法を伝承する利休正統の茶

茶道

肥後古流の400年

令和7年12月1日（月）―令和8年1月31日（土）

肥後の里山ギャラリー

開館時間―9時30分～16時30分　**休館日**―日曜・祝日・年末年始　12月31日～1月3日
観覧料―無料　**問い合わせ先**―096-326-7800
主催―株式会社肥後銀行　**協力**―茶道肥後古流的々社、茶道肥後古流白水会、有限会社石田好古堂

うるおいある未来のために。
肥後銀行
HigoBank
九州フィナンシャルグループ

100年分のありがとう
うるおいある未来のために。

茶道

肥後古流の400年

千利休の茶の湯の作法を伝承する利休正統の茶

令和7年 12月1日（月）
»» 令和8年 1月31日（土）

細川忠興肖像（部分）永青文庫所蔵

細川忠利肖像（部分）永青文庫所蔵

忠信踏水譜（部分） 個人蔵

今からちょうど400年前の寛永2年(1625)、豊前・豊後を治めていた細川家三代当主忠利は、千利休の孫娘婿に当たる茶人古市宗庵を召し抱えました。利休七哲の一人に数えられた父忠興(三斎)と同様に、忠利もまた利休の茶風を好み、細川家に利休の茶の湯を残すため、利休の奥義を極めていた宗庵を「古風之茶の湯伝授仕候者」として、禄二百石にて細川家に迎えたものです。細川家は寛永9年(1632)に肥後に国替えとなり、細川家の茶の湯は「肥後古流」と称されるようになりました。

細川家に仕えた宗庵は、利休の奥義を高弟の萱野隠斎及び小堀長斎に伝授し、古市家(現在は武田家)、萱野家(後に古田家、現在は廃業)、小堀家の三家が、利休嫡伝の点前作法を守り続けました。

「肥後古流」の最大の特徴は、400年以上前の利休の点前作法に一切手を加えることなく、令和の時代に伝えていることです。廃藩置県で藩が消滅したことにより「肥後古流」も存亡の危機を迎えましたが、三つの家が協力して利休ゆかりの作法を後世に伝えました。

本展覧会は、古市宗庵召出しから400年の節目を迎えるに当たり、熊本に伝来する茶道具、掛物、文書類等を展観して茶道「肥後古流」の400年の歴史をご紹介するものです。

また、肥後古流小堀家三代の小堀長順が確立した熊本県の無形文化財である古式泳法「小堀流踏水術」に関する資料も一部展示します。

里山ギャラリー歴史文化講座「肥後古流の400年」

日時：令和7年11月22日(土)　13:30～15:00
場所：肥後の里山ギャラリー展示室
申込：電話 096-326-7800　またはギャラリー受付にて／定員60名

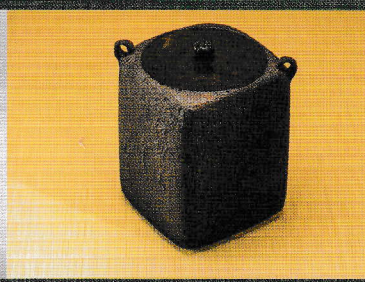
ギャラリートーク

日時：令和7年12月13日(土)、令和8年1月24日(土) 13:30～／申込不要

竹花入 銘 かたつむり　個人蔵

茶杓 銘 いはを　個人蔵

赤楽茶碗 伝一入作　個人蔵



四方釜 苫屋写　個人蔵

肥後の里山ギャラリー

〒860-8615 熊本市中央区練兵町1番地 肥後銀行本店1階
《開館時間》9:30～16:30《休館日》日曜・祝日・年末年始 12/31～1/3
《観覧料》無料　《問い合わせ先》096-326-7800